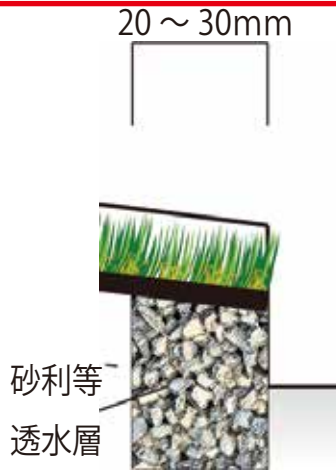


<ラインターフ 標準施工>

①

モルタル下地の作成



- ・土間の天端より 20 mm以上下までモルタルを入れます。モルタルは養生をしっかりと取って下さい。多少の水分はよいですが、水分が多すぎると専用の接着剤が固まらない可能性があります。
- ・モルタルの表面に大きな不陸（凹凸）がある場合は表面が均一になるよう補修して下さい。
- ・ラインターフ表面より水下方向へ排水しますので、必ず排水勾配を設けて施工して下さい。
- ・勾配先端部には砂利等で透水層（幅 20 mm～ 30 mm）を設け、排水された水を透水させるようにして下さい。

②

ラインターフの準備



- ・ラインターフの裏面に穴が開いている所（水抜き穴）がありますので、専用接着剤がはみ出さないように養生テープ等で穴を塞いで下さい。
- ・現場の目地の長さに合わせてラインターフを加工します。このとき裏面からカッターで切るとあまり芝糸を切らずに加工することができます。

③

接着剤の塗布



- ・下地（モルタル等）の表面にあるゴミやホコリ、油分等を除去して下さい。ゴミやホコリ、油分等が残っていると接着不良の原因になります。
清掃に水を使う場合、水たまりがあると専用接着剤が固まらない場合があります。多少の水分はよいですが、水が残りすぎないように水たまりは拭き取る等して下さい。
- ・コテ等を使用し、専用接着剤を接着面に均一に塗布して下さい。厚さ 2 mm～ 3 mm程度を目安に塗布して下さい。
- ・ラインターフ貼付後に接着剤がはみ出さないよう余幅をとるようにして下さい。

④

ラインターフの貼付



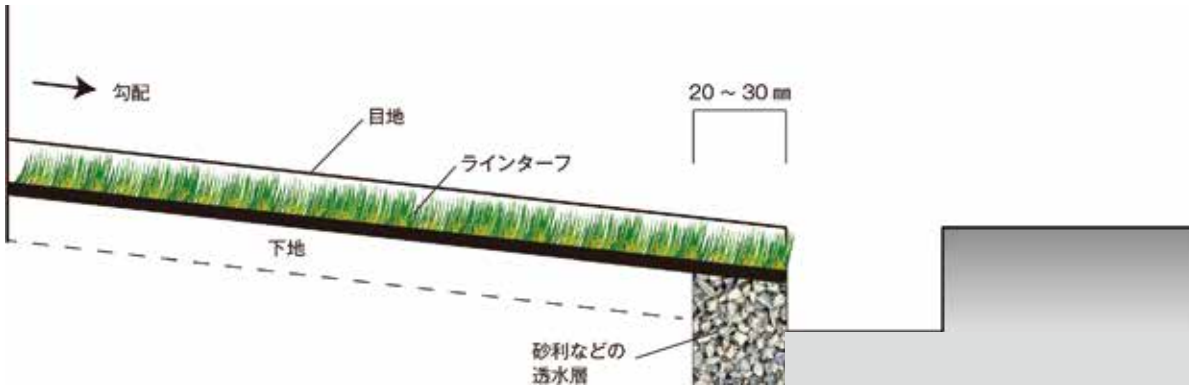
- ・専用接着剤が乾かないうちに貼り合わせます。このとき、芝糸に接着剤が付かないようご注意ください。
- ・貼り合わせる際、芝目の向きにご注意下さい。正面から見た時に芝糸が逆立って見えるように貼り合わせて下さい。
- ・継目はしっかりと突き合わせて貼り付けることで継目が目立ちにくくなります。

⑤

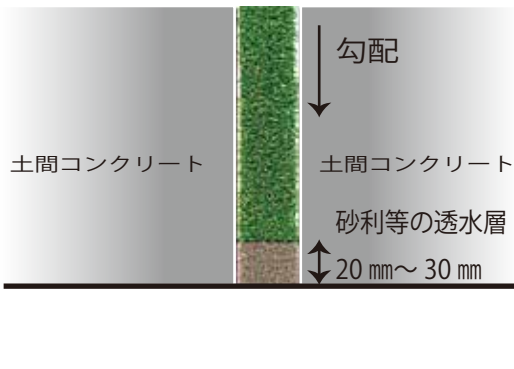
養生



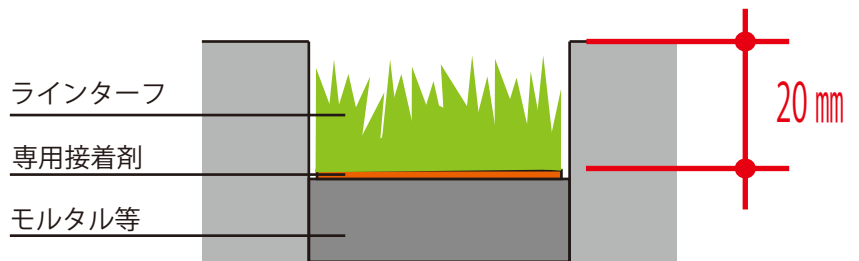
- 重しを乗せ、均等に荷重をかけ圧着します。
特にラインターフに空気が入ったような浮きが見受けられる場合、その部分をしっかりと圧着し、養生して下さい。
- 養生期間は1日以上ですが、梅雨期、冬季は乾燥・硬化が遅くなるので、3日以上養生期間を設けて下さい。
下地のモルタルに樹脂モルタルやポリマー入りのモルタルを使用する場合も硬化時間が遅くなりますのでご注意下さい。
- 養生後に芝が倒れた状態になっている場合があります。
倒れている場合は起こすようにして下さい。芝が起きにくい場合はスチーム等をご使用下さい。



【ラインターフ施工断面図 横】



【水勾配先端部の上面図】



【ラインターフ施工断面図 正面】

<ラインターフ Before After>



【Before】



【After】

<注意事項>

- W=67mmを基本寸法としますが、+1～2mmの誤差が生じる場合があります。
- 製品の特性上、シワや折り目等がつく場合があります。その際は逆巻きしたり、スチーム等で温めたりして、シワや折り目等を直してからご使用下さい。
- 防災製品ですが、火気厳禁であり、高温のものを上に置くと変形や熔けるおそれがあります。スチームをご使用する場合も適度に離してご使用下さい。
- 芝目がありますので、芝が逆立って見えるように芝の先端方向が正面に向くように施工して下さい。
- 水はけの悪い場所でご使用する場合はカビ等が発生する可能性がありますので排水勾配等を設けて施工して下さい。
- 住宅の外壁と同じように使用年数の経過とともに多少色落ちする場合があります。
- カットする場合は裏面よりカッターナイフ等でカットして下さい。
また、パイルが縫い込んである部分をカットすると、パイルが多少抜けることがあります。
- ラインターフ同士をジョイントする場合は、ジョイント部をしっかりと突き合わせ施工する事で継目が目立たなくなります。また、基布の部分が目立つ場合は基布をカットする事で目立たなくなります。
- 専用接着剤は水性で水分が多い為（約30%）、硬化後に若干の縮みがあります。
接着剤に含まれている水分がなくなることで硬化する為、養生期間は1日以上必要になります。
また、接着する下地が樹脂モルタル、ポリマー入りのモルタルの場合、モルタルが接着剤の水分を吸収しにくい為、硬化までに時間が掛かります。養生期間を3日以上みるようにして下さい。
同様に水分が多い下地や高湿度（80%以上）の際は固まりにくくなりますので、養生期間を十分みるようにして下さい。ただし、水分が全くない状態では使用できなくなる恐れがある為、夏場の施工で接着面の表面温度が高い場合は、打ち水を行う等をして接着面の表面温度を下げてからご使用下さい。
- 専用接着剤は乾燥する前に雨に当たると溶けてしまいます（水性の為、接着面に水が流れることで溶けます）。
雨が降りそうなときは施工を見合わせて下さい。
- 専用接着剤は凍結すると使用不可能になります。冬場の施工、保管には十分ご注意下さい。
- 施工時、ラインターフに空気が入ったような浮きが見受けられる場合は、その部分をしっかりと圧着し、養生して下さい。
- 本製品は材質上、静電気が発生する可能性がありますので、ご注意下さい。
なお、静電気は乾燥により発生しやすくなる為、散水する事で多少改善致します。

〒466-0059 愛知県名古屋市昭和区福江3丁目6-32

株式会社 ヤマト エクステリア商品部

TEL 052-693-6551

FAX 052-693-6552

